

## 宮崎市「事務事業の外部評価」 事業別判定結果シート

チーム名	第 3 チーム	担当課名	警防課
事業番号	3-14	事務事業名	救命講習普及啓発事業

判定結果	現 行 ど お り
------	-----------

【結果内訳】

判 定		判 定 理 由	
選択人数	区 分	選択人数	項 目（複数選択可）
0	不要 (廃止)		① 事業の趣旨・目的に妥当性がない。
			② 目的を達成する手段として、他の手法が考えられる。
			③ 市民ニーズ(需要)や時代の変化などにより、事業の効果がなくなっている、又は薄れてきている。
			④ 個人が自助努力・自己負担することが適当である。
			⑤ 民間が実施すべきである(行政の役割終了・民間の方が効率的にできる等)。
			⑥ 国又は県が実施すべきである(国・県で実施する方が効果的・効率的、国・県で同じサービス水準により実施すべき等)。
			⑦ その他
0	見直しが必要		① 事業規模(サービスの受給対象者・水準等)を縮小できる可能性がある。
			② 事業の目標や目標期限などの見直しが必要である。
			③ 他の事業との統合を検討すべきである。
			④ 実施方法の見直しにより経費削減の余地がある。
			⑤ 財源確保(負担の見直し、国・県の支援等)について検討すべきである。
			⑥ 外部委託、市民協働・参画などを検討する余地がある。
			⑦ その他
5	現行どおり		現在の事業内容・手法で行うことが妥当である。
1	拡充が必要		① 事業の対象者の範囲を拡大し、又は数を増加させる必要がある。
			② サービスの内容等をさらに充実させる必要がある。
		1	③ その他

【判定人からのコメント】

○「現行どおり」とした判定人の主なコメント	○その他の判定人の主なコメント
<p>① 今後、受講者人数が増えてきた際には、受講料の徴収も検討して良いと思います。</p> <p>② 事業費及び人件費とも非常に無駄のない要求の仕方だと考えます。市民の命を守ると言う前提で事業をつらぬいて欲しいです。</p> <p>③ 多忙の中大変ですが、普及啓発をよろしく願います。</p> <p>④ 救急ステーション数を増やし、救命の機会を高めて欲しい。</p> <p>⑤ 幅広く市民への普及が必要であり、当事業は現行どおりが望ましい。</p>	<p>⑥ 市民に対し普及啓発を図るため、継続的に事業展開を行って欲しい。また、AEDが必要と認められる事業所に、AED購入のための補助事業等も新設してはどうか。</p>